

BY:Nagoya City Tsuruma Central Library

来た!見た!!書いた!?

～来日外国人が見た日本～



日時:平成27年7月18日～9月17日

遙か海を越えて日本を訪れた異国人たち。彼らは、いろいろな形で日本を表現しました。報告書、旅行記、新聞記事、写真、絵、収集物…。近世から明治初期を中心とした日本を、彼らとともに、旅してみませんか。

外国人が描いた日本

日本について書かれた資料は、古くは「魏志倭人伝」や「東方見聞録」などもありますが、日本を外国に伝えたといえるのは、ポルトガル人宣教師たちでしょう。フロイスの「日本史」など、日本について、彼らは多くの記録を残しています。



江戸時代には、オランダ商人カロンによる「日本大王国志」や、ドイツ人医師ケンペルの旅行記「日本誌」、のちに地図など禁じられた資料を持ち出そうとして罪に問われるドイツ人博物学者シーボルトが尾張の本草学者伊藤圭介に出会う記述のある「江戸参府紀行」、初代駐日イギリス公使オールコックによる日本文明論でもある「大君の都」、幕末維新の動乱の体験を記したイギリス外交官アーネスト・サトウの「一外交官の見た明治維新」など、主に商人や外交官、軍人によって書かれています。

そして、開国した明治時代の日本には、ますます多種多様な人々が訪れました。イギリス人女性旅行家イザベラ・バードの「日本奥地紀行」、フランスの画家で、絵入新聞などにも投稿していたレガメの「日本素描紀行」、日本を絵と文で活写したアメリカの動物学者モースの「日本その日その日」、お雇い外国人の一人であるドイツ医師ベルツによる「ベルツの日記」、登山家としても有名なイギリス人宣教師ウェストンの「日本アルプスの登山と探検」他、数多くの本が出版されており、外国人の目をおしたいろいろな日本を見せてくれます。



展示資料

来日した外国人たちは、文章を書くだけでなく、絵を描き、写真を撮り、文物を収集しました。こうした資料が、わたしたちに当時の日本を見せてくれます。

甦る幕末 写真集

ライデン大学写真コレクションより

後藤和雄，松本逸也／編 朝日新聞社 1987

モースの見た日本

モース・コレクション／日本民具編

小西四郎／〔ほか〕構成 小学館 1988

アメリカのセイラム・ピボーディー博物館には、アメリカ人モース(1838-1925)が3度の来日で収集した資料のうち膨大な日本民具や写真がモース・コレクションとして収蔵されています。

幕末日本

異邦人の絵と記録に見る

エメエ・アンベール／著

東都書房 1966

スイス人アンベール(1819-1900)は、日本とスイスのあいだに国交を開くべく、1863年4月9日から1864年2月17日まで日本に滞在。修好通商条約締結のための交渉に苦勞するかたわら、日本をつぶさに観察し、見聞記「幕末日本図絵(邦訳書名)」を1870年に出版しました。展示資料は、抄訳版。

江戸時代の長崎は、日本を訪れた外国人にひらかれた唯一の窓口でしたので、来日外国人たちにはなじみの深い場所でした。

長崎紀聞 乾・坤・解説 復刻本

田沢春房著 貴重図書影本刊行会編 1930

「長崎紀聞」は文化4年(1807)ごろ成立したとみられる長崎に関する図録を中心とした地誌で、オランダ人の生活なども描かれています。(国立国会図書館デジタルコレクションでも公開されています。)

日本 【別巻】 1

シーボルト／著 雄松堂書店 1978

シーボルト江戸参府紀行

シーボルト著 駿南社 1928

日本研究の集大成として「日本」を書いたドイツ人シーボルト(1796-1866)は、尾張の本草学者伊藤圭介(1803-1901)と関わりが深く、共同研究の書として伊藤は「泰西本草名疏(たいせいほんぞうめいそ)」を文政12年(1829)に訳述・刊行しています。

18世紀末からすでに 外国諸新聞には、日本についての記事が掲載されていました

外国新聞に見る日本①

本編/原文編 1852-1873

毎日コミュニケーションズ 1989

『ル・モンド・イリュストレ』日本関係さし絵集

横浜開港資料館／編集 横浜開港資料普及協会 1988

週刊絵入り新聞「Le Monde Illustré」はパリで1857年に誕生。1948年まで刊行されました。

★日本の歴史、風俗などを書いたもの

書名	著者名	出版社	タイトルコード
日本大王国志 (東洋文庫)	フランソア・カロン／原著	平凡社	1009210008663
フロイス日本史 1～12巻	フロイス／著	中央公論社	1009210064665
日本風俗図誌 (新異国叢書)	ティチング／著	雄松堂書店	1009210022996
Black ships off Japan: the story of Commodore Perry's expedition	/by Arthur Walworth	Alfred A. Knopf	1001110043096
ヘールツ日本年報 (新異国叢書)	ヘールツ／[著]	雄松堂出版	1009210162283
絵で見る幕末日本 (講談社学術文庫)	エメエ・アンペール／[著]	講談社	1009914041393
続・絵で見る幕末日本 (講談社学術文庫)	エメエ・アンペール／[著]	講談社	1009916027746
ヤング・ジャパン: 横浜と江戸 1～3 (東洋文庫)	ジョン・レディー・ブラック／著	平凡社	1009210019139
ツンベルグ日本紀行 (異国叢書)	ツンベルグ／著	駿南社	1009210022416
ケンペル江戸参府紀行 (異国叢書)	ケンペル／著	駿南社	1009940027814
ドイツ公使の見た明治維新	M・V・プラント／著	新人物往来社	1009310069222
英国公使夫人の見た明治日本	メアリー・フレイザー／著	淡交社	1009410025403
英国貴族の見た明治日本	A. B. ミットフォード／著	新人物往来社	1009310057865
ジャポニヤ: イスラム系ロシア人の見た明治日本	アブデュルレシト・イブラヒム／著	第三書館	1009410151151
モースのスケッチブック (新異国叢書)	中西道子／著	雄松堂出版	1009912058912
日本その日その日 (講談社学術文庫)	E. S. モース／[著]	講談社	1001310029140
日本事物誌 1～2 (東洋文庫)	チェンバレン／著	平凡社	1009210015557
日本人の住まい	E. S. モース／著	八坂書房	1009914009921

★滞在記

書名	著者名	出版社	タイトルコード
江戸幕末滞在記	E. スエンソン／著	新人物往来社	1009410047041
ボンジュール・ジャポン: 青い目の見た文明開化	エドモン・コトー／著	新評論	1009410168675
明治滞在日記	A. ベルソール／著	新人物往来社	1009410065217
清国人日本留学日記: 一九〇五-一九一二年	黄尊三／著	東方書店	1009310052462
リヒトホーフエン日本滞在記: ドイツ人地理学者の見た幕末明治	フェルディナント・フォン・リヒトホーフエン／著	九州大学出版会	1001310096682
オーストリア皇太子の日本日記: 明治二十六年夏の記録 (講談社学術文庫)	フランツ・フェルディナント／[著]	講談社	1009915041611

★旅行記

書名	著者名	出版社	タイトルコード
江漢西遊日記 (東洋文庫)	司馬江漢／[著]	平凡社	1009310064199
完訳日本奥地紀行 1～4 (東洋文庫)	イザベラ・バード／[著]	平凡社	1001110189296
日本・人力車旅情 (有隣新書)	エライザ・ルアマー・シッドモア／著	有隣堂	1009410001220
ウェストンの明治見聞記: 知られざる日本を旅して	W. ウェストン／著	新人物往来社	1009410000846
キプリングの日本発見	ラドヤード・キプリング／著	中央公論新社	1009912023476
英国特派員の明治紀行	H. ボンティング／著	新人物往来社	1009410021753
ペリー提督日本遠征日記	マシュー・C・ペリー／原著	小学館	1009610074029
マクドナルド「日本回想記」: インディアンの見た幕末の日本	マクドナルド／[著]	刀水書房	1001210077164
ゴードン・スミスのニッポン仰天日記	リチャード・ゴードン・スミス／著	小学館	1009410197562
チャールズ・ホームの日本旅行記: 日本美術愛好家の見た明治	チャールズ・ホーム／著	彩流社	1001110002880
ジャポン1867年 (有隣新書)	L・D・ボーヴォワール／著	有隣堂	1009310004897
極東の遊歩場	W. ウェストン／著	山と溪谷社	1009210018739
日本旅行記 (新異国叢書)	フランシスコ・ディアス・コバルピアス／著	雄松堂書店	1009210157793
新異国叢書 第I輯～第III輯 <全35巻・総索引>		雄松堂出版	

《このほかにも多数の本を展示しています》

★参考資料

『古今東西ニッポン見聞録』	林和利／著	風媒社	1001310133439
『外国人の見た日本』 1～3		筑摩書房	1001110071704
『事典外国人の見た日本』	富田仁／編	日外アソシエーツ	1009410166927